

会報

冬
No.164

2014.1

一般社団法人北海道電業協会



目 次

年頭ごあいさつ北海道開発局 営繕部長 内野井 宗 哉	1
平成26年の新春を迎えて(社)北海道電業協会 会長 大 房 孝 宏	2
新春特集	
～老舗の宿のおもてなし～	
「ゆっくり、のんびり、やすらぎのある宿」.....	3～8
北海道女将の会 会長	
登別温泉郷 滝乃家 女将 須賀 紀子さんと語る	
平成25年度経営者懇談会・セミナー.....	9
平成25年度経営者懇談会.....	10
平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会.....	11
－シリーズ－ 1 / 212だより	
「人・夢・愛もっと大きく」～コスモスのまち 大樹町～大樹町長 伏 見 悦 夫	12～13
「最北の城下町」～松前町～松前町長 石 山 英 雄	14～15
平成25年度「公共建築の日」イベント.....	16
分離発注訪問記.....	17
現場からこんにちは.....	18～19
厚生委員会行事報告 歌唱部会.....	20
ボウリング部会.....	21
ゴルフ部会.....	22～23
－シリーズ－「私のいちおし」	
(株)関電工 北海道支店	
営業推進役 樋 口 雄 一.....	24
－シリーズ－ビジネスマンはこれを読め！	
(株)久住書房	
社長 久 住 邦 晴.....	25
業界だより、理事会・三役会・委員会報告.....	26～28
事務局日誌.....	28
編集後記	



年頭ごあいさつ

北海道開発局

営繕部長 内野井 宗 哉

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人北海道電業協会の皆様には、国土交通省における北海道開発行政及び官庁営繕行政の推進に当たり、平素よりご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

北海道開発局営繕部では、道内に所在する官庁施設（国の建築物）の整備と、これら官庁施設が常に適正な機能・性能を維持できるよう国の出先機関に対し保全指導を行うなど官庁施設に関する指導・監督を行っております。老朽化した施設が増大していく中、既存施設の有効活用を図りつつ、災害に対する安全・安心の確保等に的確に対応することが重要となっています。

特に、東日本大震災における官庁施設の津波被害や「津波対策の推進に関する法律」を踏まえ、津波襲来時における防災拠点としての機能維持と行政機能の早期回復を図るとともに、一時的な避難場所の確保による人命の救済に資するため、官庁施設における津波対策を総合的かつ効果的に推進する必要があります。

また、危険箇所解消に重点をおいた修繕や改修工事を進めるとともに、既存官庁施設を安全により長く利用し、トータルコストの縮減等を実現するため、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業の実施（ハード対策）、効果的・効率的に機能維持する保全手法等の検討（ソフト対策）の両面から、

官庁施設の長寿命化を図る必要があります。工事の発注に当たっては、公共建築工事の工事関係書類に関するアンケートの実施のほか、書類の簡素化など入札参加者の負担軽減に取り組むとともに、施工に当たっては、受注者と連携をとりながら施工品質の確保に取り組んでおります。

適正な保全の実施については、保全実態調査の結果に基づき、施設が良好な状態に保たれるよう、各省庁の施設管理者の方々に技術的な指導・助言を行っております。北海道においては、電力需給の逼迫から、本年も冬季における節電の取組が求められており、喫緊の課題である施設全体のエネルギー使用の削減についても、建築設備の効率的な運用なども含めた取組の指導を一層進めていきたいと考えております。

最後になりますが、北海道開発局においては引き続きコンプライアンスの徹底に向けて取り組んでおり、平成25年度北海道開発局内部統制及びコンプライアンス推進計画を策定しましたので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、北海道の将来にとって希望の年となりますよう祈念するとともに、皆様の更なるご発展とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。



平成26年の新春を迎えて

一般社団法人 北海道電業協会

会長 大房 孝 宏

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、著しく変化する社会情勢下ではありますが、ご家族お揃いで新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、道内では鉄道や食の問題があったほか、局地的な豪雨、落雷などの自然災害により停電が発生し、多くの会員の皆様が復旧作業に従事され、その結果、多くの道民の方々が改めて電気の重要性を痛感されたことと思います。また、北海道の自然と広大な土地を利用したメガソーラーの建設プロジェクトにも活発な動きがあった一年でした。

一方、国内においては、2020年夏季オリンピックの開催地が東京に決定し大いに賑わいました。また、「改正電気事業法」が先の臨時国会で成立し、今後の電力システム改革の動向が注視される所です。

こうした中で北海道経済は、アベノミクスによる公共投資の拡大や観光客数の回復に牽引され、また民間投資や個人消費については消費税増税前の駆け込み需要などもあって緩やかに回復をみせてきております。

しかしながら建設業においては、これまでの公共事業削減政策の反動や東北地方の復興工事の本格化を背景に人手不足や建設資機材の高騰など今後の受注や工事計画に与える影響も懸念されております。

特に技術者・技能者不足は、我々業界においても社員の高齢化と若年入職者の減少によって、長

年培われてきた技術・技能をいかに的確に継承していくかが喫緊の課題であるため、業界全体として業界の魅力を高め、若い人たちに魅力ある職場として理解してもらう取り組みが必要と考えます。

一方、北海道の今冬の節電量については、全国唯一の数値目標付きの節電が設定されており、泊原子力発電所が全停のままで老朽火力をフル稼働してこの冬の電力供給を支えることとなります。

申し上げるまでもなく、電気設備工事業界は、こうした厳しい環境の中でも電気設備の設置とその保守管理などを通じて、北海道の産業・経済や道民生活に直結するライフラインを担い、顧客に対しては良質な設備を提供するという重大な使命があります。

当協会がその使命を全うする上で「優秀な人材の確保と技術・技能の継承」、「適正な価格と適正な工期での受注の確保」、「工事の品質と価格の透明性を確保し、顧客に満足度の高いサービスを提供する分離発注の推進」、「電力供給事情の変化と節電ニーズに対応し、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用」に積極的に貢献」を活動目標に、今後とも会員が一丸となって知恵を出し、力を合わせて「夢と生きがいのある電気設備工事業界」を目指して諸課題に挑戦していきましょう。

年頭にあたり、会員各社の益々のご繁栄と皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げましてご挨拶と致します。

新 春 特 集

～老舗の宿のおもてなし～ 「ゆっくり、のんびり、やすらぎのある宿」

北海道女将の会 会長
登別温泉郷 滝乃家 女将 須賀 紀子さんと語る



経 歴

北海道根室市生れ、道立根室高校卒
東京農業大学短期大学部栄養学科卒、食品会社に就職
1984年登別温泉郷 滝乃家 女将修行始める
1999年11月北海道女将の会会長就任
登別温泉郷 滝乃家 3代目女将として現在に至る

取組み

大正6年創業の老舗だが、2008年に全面リニューアル。飾り障子など創業当時の古い部材を巧みに館内に多用し、洗練された「和モダン」の風情を演出しました。

リニューアル前は60室だったが、思い切って30室に。宿の名前に『家』があるように、『お客様が普段通りにつろげる安らぎの家』が、先代から変わらない宿のコンセプトです。その思いをこれまで以上に感じていただけるようにいたしました。

“のんびり、ゆったり、あずましい宿”というのが開業時からの思いですが、これに“癒しの宿”を加え、お客さまに常に新しい感動を与えられるように努力していきます。

- 日 時 平成25年11月14日(木)16時～17時
- 場 所 茶寮 瀧乃家 札幌市中央区南8条西3丁目6-1 五十嵐ビル1階
- 出席者 登別温泉郷 滝乃家 女将
北海道女将の会 会長 須賀 紀子 さん
電業協会 樋口副会長 萩本広報委員長 小笠原広報副委員長 小川専務



(萩本委員長)

インタビューを円滑に進めるために、私が進行役を務めさせていただきます。最初に樋口副会長から挨拶をお願いいたします。

(樋口副会長)



今日は須賀さんには、お忙しい中、新春号の取材ということでお越し頂きまして誠にありがとうございます。須賀さんは登別温泉「滝乃家」女将、「北海道女将の会」会長として、この変革の激しい時代を北海道観光の発展のために、ご尽力されていらっしゃる。そのあたりでのご苦労されたお話や、将来に向けたお話等を聞かせて頂ければと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

(須賀さん)

よろしくお願ひ致します。

(萩本委員長)



最初にお聞きしたいのは「北海道女将の会」についてです。発足の経緯や目的、最近の活動等、お話しいただければと思います。

(須賀さん)



当初、北海道で女将さんだけが集まった会はありませんでした。それで、1998年12月に公共施設廃止運動にともない、全道の女将さんに集まって頂いて知事へ陳情をいたし

ました。その時、北海道ホテル旅館組合の方からも、何らかの形で女将さん同士の横の繋がりを強めていく組織をつくることを提案されました。これをきっかけにして、1999年の11月「北海道女将の会」を設立しました。私は設立のときから現在まで会長をつとめさせていただいております。目的としては、女将さん同士の輪を広げ深めることその他、各ホテル旅館が抱える問題点などを意見交換し、勉強会などを通して業界の発展のために解決法を探り、女性ならではの知恵とパワーを外に発信していくということです。



「北海道女将の会」の様子

(樋口副会長)

公共施設廃止運動ですが、公共施設が費用を度外視して運営されており、競争力の不公平さや不透明さなどいろいろな問題もあるので、これを民間に移管していき、民間レベルでの競争を促すという主旨という認識なのですが、お聞かせ下さい。

(須賀さん)

昔は、民間としては採算が取れないため、^{へんび}辺鄙なところには公共宿泊施設以外の宿泊施設がほとんどありませんでした。その頃の公共宿泊施設は我々にとっては大変ありがたいものだったと思っています。ただ、時代が変わって、旅行ブームの到来で数多くの方が旅行をするようになり、公共宿泊施設だけであったところに、民間の施設も建ち始めると、競争が激しくなってくるわけです。

民間はどこからの補助もなく、自力でやっていかなければならない。ところが、公共宿泊施設は

公費が投入されるため、赤字経営でも継続できますが、われわれは赤字になれば倒産することになります。そんなことで、公共施設廃止運動をしていかなければ、われわれ民間の活路は見いだせないのです。実際に調べたところ、かなりの公共施設が赤字経営だということなので、これ以上公費を投入せず、むしろ民間に譲って、健全なる経営をしていった方がこれからの日本の観光業にとってもプラスだろうということです。

(樋口副会長)

ホテル旅館業界も大変厳しい状況にあると思いますが、現状などをお聞かせください。

(須賀さん)

旅館自体の現状を申し上げますと、4～5年前まで全国で約50,000軒あった旅館が現在は約45,000軒とかなり減少しており、東日本大震災を契機に益々減少傾向にあります。我々の業界としても、厳しい状況の中どのようにして生き延びていくか考えております。それで、現在は海外に目を向けております。北海道では東南アジアの方にアタックしています。海外からのお客様は、道内では札幌が一番で二番目が登別温泉なのです。登別の現状では、東日本大震災の時はかなり落ち込みましたが、それから徐々に回復して、今年の3月までの数字では震災以前より海外のお客様は伸びている状況です。

(小川専務理事)



海外のお客様が札幌の次は登別って仰っておられたのは、空港に近いという以外にやはり登別に魅力があるからなのではないでしょうか。

(須賀さん)

はい、空港から登別まで約1時間と大変地の利が良いということに加え、温泉の良さが理由だと思います。日本国内でも登別温泉の知名度は抜群に高いです。温泉宿はたった14軒ですが、やはり温泉そのものの質の良さが大きな要因だと思います。



庭園の緑に囲まれた露天風呂

温泉が9種類あるのは日本でも登別だけで、古くから温泉のデパートといわれるくらい、めずらしく、一日1万トンという豊富な湯量があり、自然の恵みにも助けられております。登別のお湯の良さについては、全国はもちろん海外から来た方たちにもすばらしいと好評をいただいております。



地縁の湯

(小笠原副委員長)



すか。

(須賀さん)

「おもてなし」って和製英語になるのかなと期待しているところです。その言葉を聞いた時に日本の伝統文化が連想され、宿泊業の取り分け旅館をイメージされてくるのではないかと思います。

「おもてなし」とは「何か?」とよく聞かれますが、どこの国に行かれても、それぞれの国での

2020年の東京オリンピック誘致の時に話題となりました「おもてなし」がキーワードになっていますが、須賀さんは「おもてなし」という点でどうのことを心がけていま



庭からの滝乃家外観

それぞれの素晴らしい「おもてなし」があると思います。それでも、海外から戻ってきて温泉旅館に泊まりますと「何かホッとすると良く皆様がおっしゃいます。その言葉には表せない感覚、それが「日本のおもてなし」の素晴らしさだと思うのです。

それは、細かいところまで気遣いがあり、また、心配りに安らぎを感じ、他国とは違う「おもてなし」の深みがあると思っております。

私共は、「おもてなし」につきましては各部署で常に努力と勉強を重ねておりますが、教育が行き届いていない場合、どこか一か所ですみずき、マイナス点がつけられてしまうと最後までマイナスがついて歩くという苦労があります。

(小笠原副委員長)

従業員の方々にはどのように指導されていますか。

(須賀さん)

社員教育については、毎朝、事務所、フロント、仲居と玄関番を全員集めましてミーティングをしております。内容は、前日の反省や、お客様から上がってきた声を良いことも悪いこともすべて伝えていきます。また今日入ってこられるお客様への対応についてです。あとは気がつくことがありましたら、その都度注意を促します。毎日その積み重ねで現在に至っております。100%満足できる宿づくりというのは本当に難しく、永遠の課題だろうと思っております。



落ち着いた雰囲気の話室

(樋口副会長)

日本人の方以上に海外の方が、「おもてなし」をされて、ずいぶん感激されて帰っていかれるとお聞きしますが、その印象をお聞かせください。

(須賀さん)

お客様がお帰りのときは、ご挨拶をしていますが、海外の方は必ず「I'll be back」と、にこにこしながら仰って下さいます。「また帰ってきたい」と。とても嬉しい、最高のお褒めの言葉です。「ああ、旅館やっていてよかった」と思います。また、海外からの方がいらしている理由に、世界無形文化遺産に申請されている「和食」が挙げられます。うちの旅館にも和食を楽しみに海外の方がお見えになります。仲居さんのお料理の出し方、ちょっとした会話、そんな「おもてなし」の中に日本への親しみやすさが生まれたり、いろいろなお話をしていただく機会となっております。今のところ、海外のお客様は非常にいい雰囲気でお帰りいただいております。海外からのお客様がいらしたときは日本の習慣を教えてさしあげることひとつの文化交流と思っています。懇切丁寧に優しく教えて馴染んでいただく、それも我々の使命の一つかなと思っています。

(萩本委員長)

須賀さんは旅館業とは全然何の関係もないお育ちで、女将になったことで苦勞されたお話とか、エピソードをお聞きしたいと思います。



風情のある渡り廊下

(須賀さん)

私、あまり苦勞はしていません。主人は、私がお客様と接する旅館業に合うとは思っていませんでした。「うちは財政難なので裏方の事務をしっかりとやってくれ」とだけ言われました。その後、主人の父親が社長るとき、経験のない私に「女性の感覚で、旅館のおみやげ売店をきれいにしてほしい」と指名を受けました。それまで私はお皿洗いや仲居さんなどいろんな部署を廻りましたが売店での売り子の経験がありませんでした。ただ、「きれいにしてくれ」ということなので、これならできかなと、素人ながら色々考えて、試行錯誤しながら、売店を切り盛りしました。

当時私は売店の売り子で、若女将でもなんでもありませんでした。社員と同じ制服を着て働いておりました。

ちょうどその頃に高速道路も開通したことで、お客様の入り込みも徐々に良くなり、売店の売上げがうなぎ上りに伸び、社長がこの子は才能があると勘違いをしたのだと思います。

私も認められた気分になり、非常にラッキーだと思いました。私はお茶やお花をやっておりましたので、当時の女将から、自分はなかなか手が回らないので仲居さんたちにお作法を教えてあげて欲しいと言われて、閉散期に仲居さんたちと共に勉強しました。入社した時から「紀子さん」と従業員に呼ばれていたのが、ある日メイド頭が今日から私を「若女将」って呼びましようと言われて、次第に女将や他の方たちも「若女将」と自然

に呼ぶようになりました。会社から「今日から若女将」なんて辞令はありませんでしたが、一従業員から自然に入り込んでいきましたので、社員からの反発はありませんでした。

先代のすばらしい女将は、非常に厳しい方で、「習うより見て覚えろ」でしたから、ああしろこうしろとは一切言いませんでしたので、必死になって覚えました。今の従業員にも常に「見て覚えなさい」と言いますが、なかなか難しく、基本的なマニュアルをつくりあげて、そこから色を付けて磨き上げていかなきゃいけないのかなと思っています。

(小川専務理事)

日本経済はアベノミクス効果で景気回復基調にあるといわれますが？

(須賀さん)

アベノミクス効果でますます経済を活性化し、時間はかかるかもしれませんが、われわれ業界においても作用してもらって、お客様が豊かになり、癒しを求めにこられるような環境にますますなっていきたいと思っています。

私どもでは二つ宿をしております。滝乃家別館「玉乃湯」は非常にリーズナブルな価格体制です。もう一件の宿「登別温泉郷滝乃家」は高単価ですが、その時のお好みで御宿泊いただければ何よりでございます。

(樋口副会長)

これからも「滝乃家」の女将として、また女将の会の会長として、北海道観光という大きな発展

のために是非ご尽力いただくということを祈念致しまして、これで終わらせて頂きたいと思えます。

今日は本当にどうもありがとうございました。



滝乃家と玉乃湯の案内図



滝乃家別館玉乃湯へもどうぞ



須賀紀子さんを囲んで

平成25年度経営者懇談会・セミナー



平成25年11月5日(火)午後1時30分から札幌グランドホテルで「平成25年度経営者懇談会・セミナー」を開催し、会員代表者など60名が参加した。

はじめに、大房会長から最近の当業界を取り巻く経営環境について、技術者不足や資材高騰、入札不調による設備工事へのしわ寄せが懸念されるなど、今後も厳しい状況が続くと見られるなかでも「技術力のさらなる向上と経営改善を実行し、経営力に優れた企業を目指し、経営基盤の安定化を図って欲しい」と求め、さらに「本日のセミナーでは、こうした企業が直面する課題の中で、企業の継続的発展に必要な“元気に活躍できる人材の育成と健康職場づくり”への対応として開催したので、本セミナーを通じて経営基盤強化のツールとして役立てていただきたい」と挨拶された。

経営セミナーでは、建設業界における「職場のストレス管理！」～心身の健康管理に自信を持つ方法～と題して、(株)建設経営サービス提携コンサルタントの堀内美佐子氏を講師に招き講演いただいた。堀内氏は、健康体操・ダンスなどの実技指導と同時に、現在の複雑な社会状況や人間関係の中で、より元気に、心豊かに活躍するためには「心の健康」と「体の健康」を高めていくことが大切と説き、その土台作りに取り組んでおります。

講演では、ポイントとなる部分はホワイトボードを使ってわかりやすく説明。また、随所にストレッチ体操を取り入れるなど、エネルギーで明るい雰囲気のもとで進められた。最後に、まとめとして「健康マネジメントが心と体の元気力を高めます。身近な所から、生活の中に取り入れて楽しく実践していきましょう」と呼びかけられた。



大房会長 挨拶



堀内 講師

平成25年度経営者懇談会



平成25年11月5日(火)経営セミナーに引き続き「平成25年度経営者懇談会」を開催した。

本懇談会については、当協会を取り巻く諸問題、協会事業に関する意見や提言を頂き、今後の協会事業に反映し、更に会員代表者相互の意見交換の場として開催している。

はじめに、大房会長から「長引く経済活動の低迷と公共投資の大幅な減少などで、我々を取り巻く経営環境は極めて厳しくなっている。当協会としてはこのような環境下であるが、平成25年度会員大会決議事項である4項目を基本に、優秀な人材の確保と育成、地球環境保全の推進、適正かつ合理的受注、分離発注の推進等をモットーに、会員一人ひとりが大きな転換期に入っていることを認識し、技術力の更なる向上や経営改善に迅速かつ、柔軟に取り組んで行くことが重要である。本日の懇談会では、協会の健全な発展と会員皆様方の繁栄に繋がるよう活発な意見交換の場としたい」と挨拶された。

つづいて、小川専務理事の司会で議事進行となった。(議事次第参照のとおり)



各地区協会からの活動報告
函館電設業会会長 平沼冠三

【平成25年度経営者懇談会次第】

1. 関係官公庁との意見交換会の開催概要について
2. 平成25年度会員大会決議事項等について
3. 社会保険未加入問題への取り組みの動向について
4. 各地区協会の活動近況報告
5. 協会事業に対する意見・要望事項

(フリートーキング)

懇談会終了後は、交流会となり会員相互和やかに親睦を図った。



各地区協会代表の皆様



交流会の様子

平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会



平成25年10月26日(土)～10月27日(日)の2日間、北海道電気会館において平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会が開催され、全道から26名が受講した。

この講習会は、国土交通省の提唱による「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」をふまえ、(一社)日本電設工業協会が策定した「電気技能労働者育成指針」に基づき、電気工事業界における基幹技能者を認定する講習会で、合格者には平成21年度から経営事項審査のなかの技術力を評価するZ評点に、3点が認められている。

最初に当協会の小川専務理事から「電設業界が魅力と誇りのもてる産業へと発展するためには「人づくり」であり、優秀な技術者、熟練した技能者の確保と育成が重要な課題である。そこで、現場の技術者を指導・統率する役割を担う登録電気工事基幹技能者の存在が必要となってくる。基幹技能者としての役割、知識を身に付け最終日の試験には全員合格して欲しい」と挨拶された。

認定講習会は、全国一斉に行われ当協会の認定講習試験委員が講師となり、電気工事基幹技能者の役割や基礎知識など幅広い内容を講義した。受講者は資格取得に向け真剣に取り組み、メモを取りながら熱心に耳を傾けていた。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (一社)北海道電業協会専務理事
小川 孝 樹
2. 電気工事基幹技能者の在り方等
電気工事における新材料・新工法等
今野 正 章 氏
(北海電気工事(株)電設工事部長代理)
3. OJT教育
澤田 博 氏
(三共電気工業(株)常務取締役工務部長)
4. 関係法規・施工管理・事務管理・工程管理
内山 優 氏
(株)北弘電社技術部 担当部長)
5. 資材管理・安全管理・労務管理
吉崎 俊明 氏
(拓北電業(株)取締役営業推進部長)
6. 品質管理・環境管理
小川 恒明 氏
(協信電気工業(株)営業部長)



内山 優 講師



澤田 博 講師



開講挨拶 小川専務



今野 正章 講師



吉崎 俊明 講師



小川 恒明 講師



「人・夢・愛もっと大きく」 ～コスモスのまち 大樹町～

大樹町長 伏見悦夫



町の花「コスモス」

大樹町は十勝の南部に位置しています。西は日高山脈に接し、東は太平洋に面する広い土地と豊かな自然に恵まれた町です。農林水産業を基幹としており、特に酪農は国内有数の規模を誇っています。大樹町の名前はアイヌ語の「タイキウシ(大木の群生するところ)」に由来するといわれています。



清流歴舟川

【清流歴舟川】

日高山脈を源に、大樹町の中だけ流れ太平洋



夕日の歴舟川と砂金

に注ぎこむ「歴舟川(れきふねがわ)」は、過去に9回「清流日本一」に選ばれた町民自慢の川です。砂金が採れる川としても有名で、一攫千金を夢見た砂金掘り師たちが押し寄せ、ゴールドラッシュに沸いた時期もありました。産業としての砂金掘りが終わった現在でも、昔ながらの道具を使った砂金掘り体験を行っており、当時の「夢と浪漫」を味わうことができます。



歴舟川清流まつり
「ペルプネ火祭り」

8月には、夏の風物詩となった巨大な柱たいまつで豊作・豊漁を占うペルプネ火祭りや夜空を彩る花火が楽しめる「歴舟川清流まつり」が開催されます。



歴舟川 砂金掘り体験

また、河川敷には4コース36ホールの、起伏にとんだ道内でも珍しい本格的なゴルフコースのようなパークゴルフ場があり、多くの愛好家に親しまれています。



パークゴルフ場

【宇宙のまち】

大樹町では「宇宙のまちづくり」を進めており、町内美成地区の大樹町多目的航空公園では、JAXA（宇宙航空研究開発機構）をはじめとする多くの研究開発機関や大学による実験が行われています。

また、町の花も英語で宇宙を意味するコスモスが選ばれており、宇宙のまちの花として町民に愛されています。秋になるとシンボルガーデンをはじめ、町じゅうで満開のコスモスを楽しむことができます。



大樹町多目的航空公園

【海に見える温泉『晩成温泉』】

湯船に浸かりながら眼前に広がる雄大な太平洋を望める晩成温泉は、全国的にも珍しい高濃度のヨード泉の温泉としても注目されています。また、タオル類の無料貸し出しのほか、食堂や宿泊施設も備えています。

周辺にはワカサギ釣りやマリンスポーツが楽しめる湖沼、森には散策路もありますので、心と体のリフレッシュには最適です。

【新・OMOTENASHIご当地グルメ】

今年6月にデビューしたばかりのご当地グルメ「大樹チーズサーモン丼」は、大樹町自慢のチーズとサーモン（秋鮭）を使った天丼御膳です。現在、町内4店舗で提供されていますが、店ごとにタレや具材も異なり、それぞれの個性が楽しめる逸品となっています。大樹町を代表する味覚を組み合わせた新しい美味しさを、是非ご賞味ください。



ご当地グルメ「大樹チーズサーモン丼」



マリンスポーツ「カヤック」



ヨードの湯「晩成温泉」

ホームページアドレス

<http://www.town.taiki.hokkaido.jp/>



「最北の城下町」～松前町～

松前町長 石山 英雄



【松前町の紹介】

北海道の最南端に位置する松前町は、西は日本海、南は津軽海峡に面しています。

東西に約50km、面積は293.09km²で、国道228号にそって町並が続きます。

白神岬は渡り鳥の主要コースにあたり、300種以上の鳥の通過ルートになっています。また折戸浜、小浜海岸をはじめ、入り組んだ海岸線の景色は素晴らしく、オオミズナギドリ of 繁殖地の渡島大島、ケイマフリの繁殖地の松前小島とともに、松前・矢越道立自然公園に指定されています。

【沿革】

松前の歴史は今から約500年前、松前家の祖となる武田信広公が基礎を築き、5世慶広公が豊臣秀吉や徳川家康から独立した諸侯として認められ、姓を松前と改めました。また1606年には現在の松前（福山）城の前身である福山館を築城するなどして松前藩が成立しました。以降、北前船の航路が整備され、京都・大阪の文化、物資が近江商人などと渡って来て、北方交易の拠点、また北の小京都として賑わいを見せた道内唯一の城下町でした。現在松前城を取り巻く公園内には、250種1万本のさくらが松前の春を告げ、「さくらまつり」は、毎年大勢の観光客で賑わいます。また秋はマグロをメインとした「松前マグロまつり」が人気を博しています。

【夷酋列像】

松前藩の家老であった蠣崎波響は、京都をたびたび訪れ、上方の文人と交流。丸山応挙の流れを組む画人としても知られます。なかでも、寛政元（1789）年のクナシリ・メナシの戦いに関わったアイヌの首長を描いた「夷酋列像」は傑作の誉れ高く、多くの模写を生みしました。



【寺町】

松前城北側周辺には、江戸時代20か寺を超える寺院がありました。何度かの火災、また箱館戦役等の火災で寺町の寺院は減り、現在は5か寺で寺町の寺院を形成しています。この周辺の景色は北の鎌倉といわれる風情を見せており、城周辺とは違った趣きが人気を博しています。また多くの寺院は明治維新後に再建されておりますが、寺町は松前公園にはかかせない存在となっています。



【松前藩屋敷】

「松前の春は江戸にもない」

幕末には、仙台以北最大の都市といわれた最北の城下町・松前。北前船が走る海の道を、産物や文化が行き来し、北の辺地に豊かで華やかな町が生まれたのです。その「松前」を再現し建物は全部で14棟。表門をくぐるともう江戸時代のたたずまい、松前藩時代の歴史の面影を実際に体験できます。江戸時代へのタイムスリップをお楽しみください。



【松前温泉】

松前温泉は約150年ほど前に発見され、松前藩の湯としても知られ泉質はナトリウム、塩化物、硫酸塩泉で、効能は神経痛、筋肉痛、疲労回復、健康増進等元気の出る温泉です。現在は「松前温泉休養センター」として地域の方々の日帰り入浴温泉として人気を博しています。他にも温泉付きの旅館もあり、ゆっくり松前観光も兼ねた宿泊温泉も楽しめます。



【松前漬・松前本マグロ】

松前漬の松前町でもあり、町には9業者により松前漬が製造されており、様々な味を楽しむことができます。



また、暖流に乗り日本列島に沿って北上した本

マグロは、夏から秋にかけて津軽海峡でスルメイカやサンマなどを餌にして脂と旨味を増す。津軽海峡に面した松前町では、この質の良い本マグロを「松前産延縄釣本マグロ迅速船上活〆処理」のブランド名で築地などの市場へ出荷しています。



【渡り鳥のサンクチュアリ・白神岬】

「バードウォッチングで地球を感じよう」

松前町は、渡り鳥の環境を保全し、白神岬を野鳥のサンクチュアリ（聖域）にする運動をすすめています。



津軽海峡は、渡り鳥にとって難所中の難所です。海峡に突き出た白神岬は鳥たちが長い年月をかけて選択してきた渡り鳥の主要ルートです。ここでは国内の野鳥約500種のうち300種以上が見られます。また津軽海峡はブラキストン線として、動植物の分布境界線の一つで、津軽海峡を東西に横切る線で、津軽海峡線とも呼ばれています。



平成25年度「公共建築の日」イベント

「公共建築の日」フェスティバル2013 in モエレ



このイベントは、北海道開発局が主催し北海道、札幌市、当協会など、自治体や各種団体が後援するもので、生活に密接に関わっている公共建築が果たしている役割などを、子供から大人まで幅広い市民層を対象に、各種イベントを複合的に開催する事で、公共建築に理解と関心を持ってもらう事を目的として毎年開催されています。

当協会では4名のスタッフが、10月5日(土)に開催された「ものづくり体験コーナー」に参加しました。このコーナーは、コンセントの延長コード作りと、電線を使って昆虫等を自由に作ってもらい、持ち帰ってもらう事で、子供たちに建築設備に少しでも興味をもってもらうことを目的に実施しています。



【開催日時】 平成25年10月5日(土)

【場 所】 札幌市東区モエレ沼公園
ガラスのピラミッド内

【参加スタッフ】

(株)北弘電社

向平 義美 内川 勝哉

北海電気工事(株)

長谷 智美 川村 幸平

【イベントに参加して】

ものづくり体験で、子供たちがご両親と一緒に慣れない手つきで、一生懸命に取り組んでいる姿は、気持ちの良いものでした。この体験で、ものづくりの楽しさを感じてもらえればと思っています。

(株)北弘電社 向平 義美



分離発注訪問記

北海道電業協会の活動の一つに「分離発注の推進」を掲げています。本年度も各地区の電業協会と経営委員会が協力、分担して道内の各自治体への分離発注の要請・陳情が行われます。

当協会では経営委員会の分離発注担当委員が担当地区を決めて下記の内容で訪問活動を実施いたしました。

- ・空知総合振興局管内を10月25日～12月5日、猪股浩徳委員（末廣屋電機㈱）と松澤勝広委員（末廣屋電機㈱）
- ・石狩振興局管内を11月13日三上哲也委員（北電力設備工事㈱）と国井雅和委員（㈱関電工北海道支店）

私どもは空知総合振興局管内を受け持ち、管内の25市町を訪問いたしました。

最初に滝川市を訪問し高瀬慎二郎建設部技監に面談をさせていただきました。面談の中で「今後も分離発注を継続するとともに、少額工事についても可能な限り分離発注にするように努力します」とのお話をいただきました。しかし、最近の状況として、諸官庁や地方自治体などおきてい

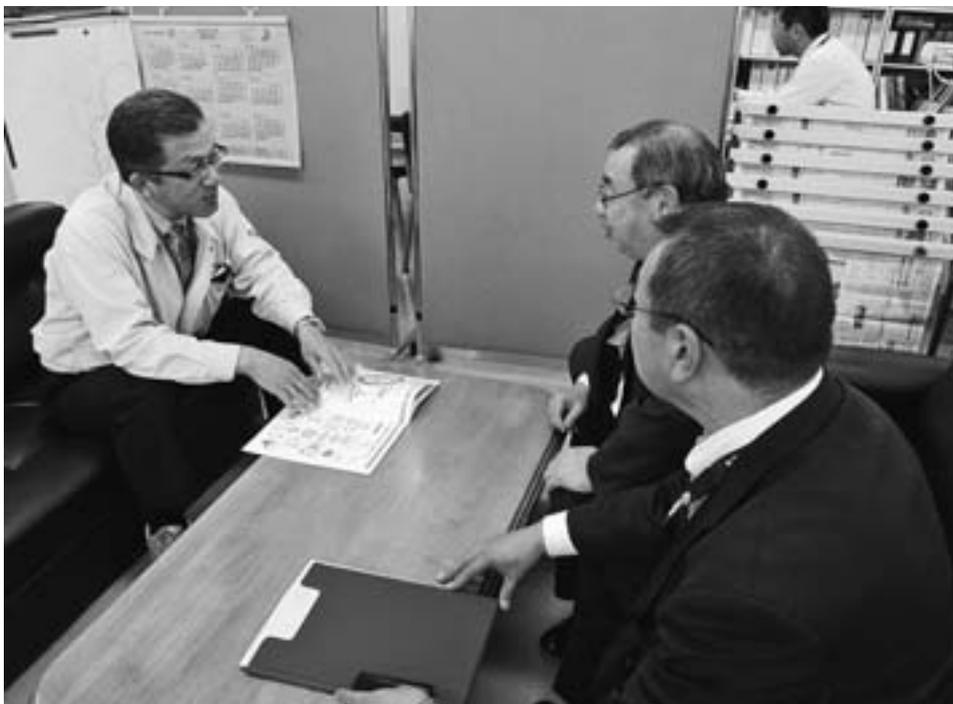
る技術者不足による入札参加者の激減や資材高騰などによる入札の不調などについて心配されてきました。また、今後、新築物件は当然ながら現在使用中の建物についても長寿命化の検討をして、できるだけ長く使用するため努力したいとお考えもお話いただきました。

再度、分離発注のお願いをして滝川市を後にしましたが、高瀬建設部技監には貴重なお時間とお話を頂き誠に有難うございました。

今回訪問しました多くの自治体は原則分離発注をしていただいておりますが、そのなかで過去から一括発注をされている自治体も1町ありますし、また、現在の建設業をとりまく様々な状況から今後については一括発注を検討中と言う自治体も2町ございました。

今後も分離発注の陳情・要請を推し進め自治体の考えや要望などに対応していくことが、分離発注は勿論、業界発展のためには大切なことだと感じました。

末廣屋電機㈱ 猪股 浩徳



滝川市役所にて高瀬慎二郎建設部技監（左）と面談する猪股浩徳委員（右奥）と松澤勝広委員（右手前）

現場からこんにちは



工事名称 池田太陽光発電所新設工事
工事場所 中川郡池田町字清見133-1
工期 平成25年5月13日～平成25年12月2日
発注者 ほくでんエコエナジー株式会社
施工業者 北海電気工事株式会社

【工事概要】

- ・発電所出力：1,500kW 高圧連系方式
- ・パワーコンディショナ出力：375kW (500kVA)×4台
- ・太陽光パネル：多結晶シリコン 定格出力240W 6,272枚
- ・設置面積：約4.1ヘクタール
- ・架台基礎：スクリー式鋼管杭杭径114φ、杭長3m
- ・架台：鋼製架台（溶融亜鉛メッキ仕上げ）
- ・想定発電電力量：約180万kWh／年間
- ・想定CO₂排出量削減効果：約900t／年間

【設置に至る経緯】

今回の工事は、ほくでんグループが再生可能エネルギー普及拡大に向けて、2020年度までに合計5,000kW程度のメガソーラー導入を目指す取り組みの一環として、ほくでんエコエナジー株式会社が、中川郡池田町および本別町の2地点において、発電所出力が各1,500kW、合計3,000kWのメガソーラー発電所を建設する事業です。

ほくでんエコエナジー株式会社では、引続き、低炭素社会の実現に向けて、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの活用に取り組んでいくとのこと。

ところでみなさん知っていますか？日本全国で大型の太陽光発電（メガソーラー）の建設が進んでいます。その中でも北海道が一番の件数になっているんですよ!!特に日射量・用地の確保などの面で、胆振以東の太平洋、オホーツク方面に計画が集中しています。

【施工の特徴】

架台基礎にスクリー式鋼管杭工法が採用されています。私が初めて経験する工法で、パワーショベル、バケットの代わりに、スクリー杭を回転させる機材を取り付けます。スクリー杭を機材にセットし地面へ押し付けて回転させていくと面白いぐらいに杭が地面の中へ埋っていきます。通常のコクリート基礎工法のように、掘削やコンクリートの打設が無い為、天候の影響を受けにくいので、工期を短くしてコストを抑える事が



スクリー式鋼管杭を重機で打ち込む作業

出来ます。ただし、地盤が硬すぎたり大きな石が多い地質では施工出来ない為、地質調査を行い地盤の確認が必要です。

太陽光パネルを載せる架台は、地上で組立を行いクレーン作業で所定の杭まで宙を舞って移動する為に落下事故がないように気を遣いました。架台と杭をボルトで固定し太陽光パネルを設置しますが、6,272枚で枚数の多さにビックリする作業でした。後は、お得意の電気工事で10月末までに現場作業はほぼ完了させて、12月2日の竣工まで測定関係及び試運転調整を行いました。

【施工の安全について】

現場付近には、池田ワイン城やキャンプ場・アイスクリーム屋さん等へ向かう観光者の車の往来があったり、池田高校があるため登下校の時間帯を避けての搬入調整を行うなど、第三者災害の防止に特に気を遣いました。

発電所の南西角には、隣接する道路から自由に登る事が出来る展望台が設置されていますので、池田町にお越しの際には、「ワインの里池田ソーラー発電所」へお立ち寄りください。



現場代理人 伊藤 大介さん
北海電気工事(株)帯広支店

取材 広報委員 大塚 雅史
佐藤 貞治

厚生委員会行事報告



会員の皆様方には常日頃から歌唱部会の活動に多大なるご理解とご協力を賜っておりますことを心から厚く御礼申し上げます。

月日の経つのも早いものであっという間に1年が過ぎてしまいました。部会は毎年4回開催しており、既に5月、8月、11月の3回開催されました。4回目は2月に開催予定です。皆様の参加をお待ちしております。

毎回20名程度の参加者で開催しております。

コミュニケーション不足と言われる昨今、せめてカラオケで日頃の憂さを晴らし酒を酌み交し懇親を深めたいものです。

17時からの2時間ですがとても短い時間感じられます。会費は3,000円程度で、食事は軽食ですが、美味しい酒は何でも有です。特に安達電設(株)関場社長からの差し入れの焼酎は格別に美味し

いです。

歌唱部会のメンバーの中にはプロ顔負けの歌唱力がある方、パフォーマンスの出来る方、物まねのできる方がおり見るだけでも楽しいです。歌われる曲も、演歌、ポップス、フォーク、ロックと色々です。

まだ歌唱部会に参加されたことが無い方、話をするだけでも良いので是非一度参加して下さい。

26年度も会員の皆様方と、より一層楽しい歌唱部会が開催できますように、向平部会長を中心に幹事一丸となって頑張ります。会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

歌唱部会幹事 佐久間忠信
(北明電気工業(株))



ボウリング部会



第3回大会スタート前

平成25年度第3回開催ボウリング部会報告

10月18日(金)に平成25年度第3回ボウリング部会が行なわれました。優勝者は(株)ユアテックの深谷さん。バランス良くストライクとスペアを取りに行く堅実なプレイ、それと36のハンデを活かして見事栄冠を勝ち取りました。その後いつもの会場で美味しいしゃぶしゃぶとお酒で親交を深めました。今回参加人数は20名に満たないのですが、大きな笑い声が飛び交う和気藹々とした楽しい宴会でした。

さておなじみボウリングの豆知識コーナー。

- ・レーンの長さはファールラインから1番ピンまで18.288mです。野球で言えばピッチャーマウンドからキャッチャーまでの距離とほぼ同じとなっております。球場のマウンドに立つととても届く気がしませんが、ボウリング場だとさほど遠く感じないのは不思議ですね。



第3回優勝者 深谷さん

平成25年度第3回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成25年10月18日開催

順位	氏名	1G	2G	1Gハンデ	トータル	会社名
優	深谷 耕二	120	157	36	349	(株)ユアテック
準	内川 勝哉	150	149	19	337	(株)北弘電社
1	大塚 雅史	113	117	53	336	北盛電設(株)
2	阿保 大陸	163	124	18	323	末廣屋電機(株)
3	藤井 大樹	102	125	47	321	(株)でんこう
4	畑 澄人	123	145	25	318	北海道タツワ電気(株)
5	木村 賢史	132	119	33	317	北海道タツワ電気(株)
6	本間 美則	126	131	28	313	拓北電業(株)
7	細野 隆平	99	82	61	303	橋本電気工事(株)
8	小原 正弘	139	112	22	295	弘和電気(株)
9	稲津 亘	118	134	20	292	北盛電設(株)
10	長谷川 政幸	117	133	20	290	北海道タツワ電気(株)
	(ハイゲーム賞) 163ピン 阿保 大陸					末廣屋電機(株)
	(大波賞) 49ピン 十日市 樹					(株)北弘電社
	(小波賞) 5ピン 本間 美則					拓北電業(株)
	(ラッキー賞) 9位 稲津 亘					北盛電設(株)
	(飛び賞) 5位 木村 賢史					北海道タツワ電気(株)
	(飛び賞) 10位 長谷川 政幸					北海道タツワ電気(株)
	(ブービー賞) 菅井 末行					旭日電気工業(株)
	(ブービーメーカー賞) 野中 護					北関電気工事(株)

- ・ボールの重さは成人男性が良く使用する13ポンドで約5.9kg、一番重い16ポンドでも約7.2kg。対してピンの重さは10本合わせておよそ15kgです。なので16ポンドのボールを使用しても倍以上の総重量があるピンを倒さなくてはなりません。軽いボールだとピンにはじき飛ばされるのはこういう理由なんですね。

- ・6月22日は「ボウリングの日」となっております。1861年(文久元年)6月22日、長崎県大浦外国居留地内にインターナショナル・ボウリング・サロンと言う日本最古のボウリング場が出来た事から制定されました。同じく記念日として、8月21日は「パーフェクトの日」となっております。これは1970年8月21日、中山律子さんが女子プロボウラーとして初のパーフェクトゲームを達成した事から制定されました。毎回調べる毎に色々なことがわかってきます。本当に奥が深い楽しい競技ですね。

毎年3回開催させて頂いているボウリング部会ですが、近年参加人数が減少傾向にあり、幹部一同懸念しております。皆様御多忙かとは思いますが、何卒ボウリング部会への御参加をお願い致します。

ボウリング部会幹事
藤井 大樹 (株)でんこう

ゴルフ部会

新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様方には常日頃よりゴルフ部会の活動に多大なるご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年、ご参加いただきました皆様の思い出と、部会長として反省を含めご報告させていただきます。先ずは3月上旬に部会幹事集合の上で開催ゴルフ場、開催日、スタート時間などを各ゴルフ場と折衝し決定しました。今年度は前年度9月開催の第4回例会が雨天中止となりました為、例年より1回増やした競技スケジュールと致しました。

第1回例会は札幌国際CC参加者35名で柳さん（札幌機電）の優勝でゴルフ部会事業としての幕明けになりました。第2回札幌南CC参加者24名で吉崎さん（拓北電業）が優勝、第3回札幌エルムCC参加者28名は事務局の枝並さんが優勝、第4回羊ヶ丘CC参加者30名で川喜田さん（能美防災）の優勝となり順調に例会も進んでおりましたが、最後の第5回札幌芙蓉CC開催においては前年同様の雨天となりそれでも決行と致しましたが、一向に天候回復の兆しがなく、コース状況も悪化し気温も下がり、ハーフプレーにて中止と致しました。主催者としてこのような事態となりました事につきまして「部会長の日頃の行い



スタート前の様子

が…」と感じており、心よりお詫び申し上げます。尚、ハーフの成績で順位決定し滝沢さん（サンテック）が優勝となりました。

昨年はこのような1年間ではありましたが、何よりも事故や怪我が無く終了したことに深く感謝申し上げます。今年も4月には年間スケジュールを決定し、会員の皆様にご案内を致しますので、今から腕を磨き優勝を目指して頂きたいと思います。

最後になりますがこの度永年、ゴルフ部会の運営発展に尽くして下さいました石田啓二さんが部会幹事を退任致しました。ゴルフ場の予約から料金の交渉まで細部に渡り、より良く楽しいゴルフコンペ開催の為、部会を引っ張って頂きました事に、心より厚く感謝申し上げます。

本年も、幹事一同一丸となり業界発展の寄与と各社の親睦親交を深める機会になれる様努力してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ゴルフ部会長 豊 友祐（北札幌電設(株)）

【昨年の優勝者ご紹介】



第1回札幌国際
柳富美夫さん
札幌機電



第2回札幌南
吉崎俊明さん
拓北電業



第3回札幌エルム
枝並秀喜さん
電業協会



第4回羊ヶ丘
川喜田邦夫さん
能美防災



第5回札幌芙蓉
滝沢英美さん
サンテック

平成25年度第5回ゴルフ部会コンペ成績



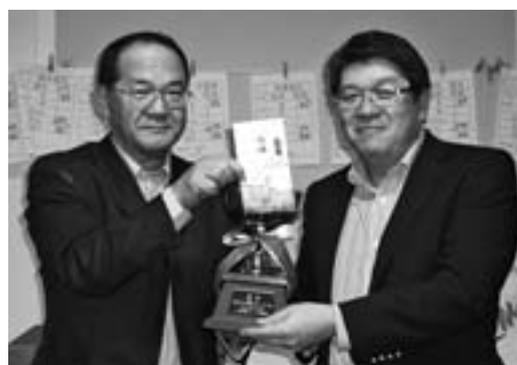
第5回 表彰式

第5回例会 平成25年9月25日(水) 札幌芙蓉カントリー 参加者30名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	滝沢 英美	サンテック	48	48	96	26	70
準優勝	松原 一朗	北明電気	41	41	82	5	77
3位	木村 賢史	タツヲ電気	52	52	104	26	78
4位	下屋敷 卓	末廣屋電機	52	52	104	24	80
5位	小野寺涼一	大成電気	45	45	90	9	81
6位	川口 誠	エミヤ	48	48	96	15	81
7位	桜庭 謙次	北電力設備	45	45	90	8	82
8位	関戸 武勲	岸野電気	51	51	102	20	82
9位	暁 友祐	北札幌電設	48	48	96	13	83
10位	中鉢 征	三共電気	51	51	102	18	84

(特別賞)

- B G 松原 一朗 (北明電気)
- BB賞 小林 勇治 (三共電気)
- N P 下屋敷 卓 (末廣屋電機)
- N P 桜庭 謙次 (北電力設備)
- N P 中鉢 征 (三共電気)
- N P 浦本 泰男 (振興電気)



第5回優勝者 滝沢さん(右) 樋口副会長(左)

第5回例会は朝から雨が降り続けている中でのスタートとなりました。雨は次第に激しさを増し、さらに風も強くなったことから前半-half終了時点で続行不可能と判断して終了いたしました。

後半のスコアは前半と同スコアで表示しております。

～シリーズ～ 「私のいちおし」

株式会社 関電工 北海道支店
営業推進役 樋口 雄一



元センチュリーローヤル札幌ホテルの副総支配人、神田吉美さんが平成11年の3月に開店した「やきとりBARかん田さんち」を紹介します。



マスターおすすめのワインが並ぶカウンター

独り物思いに耽るカウンターも良し、8～10人なら小上がりも良く、カラオケではなく、じっくりとJAZZやプレスリー・中島みゆき等本物の歌が心地良く流れているBGMを聴きながら、焼き鳥とワインは如何ですか。約70種類有るワインとマスターの趣味で集めた、バカラの素敵なグラスを目の前にして、炭で香ばしく焼き上げた一串一串を食べ、身も心も穏やかになっていく空間。それが私のお気に入り「やきとりBARかん田さんち」です。



白ワインと焼き鳥を手に至福のひと時

このお店の「私のいちおし」は焼き鳥人気NO1のふわふわ「鳥レバー」と「さつまシャモの精肉」です。それと一緒に、安くて美味しい白ワインのムルソーやピュレニーモンラッシェを飲みながら、サイドメニューのセンチュリーローヤルホテルレストランで伝授された和風パスタを口に運んで行くのが至福のひと時なのです。



マスターの神田吉美さんと

マスターの洗練された話術、時には駄洒落を交えた洒脱な会話に引き込まれ、飲むほどに酔いしれながら、いつしか気が付くとマスター手作りのイントロゲームに突入、夜の更けるのも忘れ一夜を過ごせる休息の場所なのです。

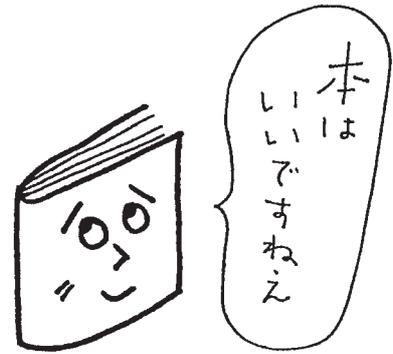


看板がひときわ輝く「やきとりBARかん田さんち」

店 名 やきとりBARかん田さんち
住 所 札幌市中央区南6西4-5タカセビル
3F
電 話 011-561-2233
営業時間 午後6時30分～午前2時
定休日 日・祝日
次回の「私のいちおし」は
安達電設(株)
代表取締役 関場憲明 さん



ビジネスマンは これを読め！



(株)久住書房 社長 久住邦晴

「なぜだ?!売れない文庫本」をはじめ、全国の書店に波及した「本屋のオヤジのおせっかい、中学生はこれを読め！」など独創的な企画で注目を集める、くすみ書房社長の久住邦晴氏（北海道書店商業組合理事長）おすすめの一冊をご紹介します。

「小商いのすすめ」



「日本よ、今年こそ
大人になろう」

著者：平川 克美
出版社：ミシマ社
定価：1,680円

最近「小商い」という言葉を聞く事が増えてきました。

著者の平川さんによると「自分の手の届く距離、目で見える範囲、体温を感じる圏域でビジネスをしていくこと」だそうです。そもそも人口がこれだけ減っているのに（2006年をピークに減少を続けています）いつまでも経済成長ばかりをとなえているのではなく縮小均衡させる方法を考えるべきだと。

国民経済にとって重要なことは、経済を拡大するか縮小するかということではなく、均衡すると

いうこと。もし、経済が均衡的に拡大する条件を失っているならば縮小して均衡させる方策を考えなくてはならないと平川さんは言います。

大震災以後、わたしたちは個人的な生活や会社や社会やそれらを貫く経済、哲学について、これまでの延長でやっていけるのかそれともこれまでとは違うやり方を見出さなければならぬのかを問われています。それは誰にとっても喫緊かつ重要な問いですが、答えることが非常に困難な問いでもあります。というより誰も答えを持っていません。だって原発事故は、まだ全く終わっていないのですから。

平川さんはその答えのひとつが「小商い」だと教えてくれます。「素顔の見える人の幸せを思い行動すること」そして「身の回りの人間的なちいさい問題を自らの責任において引き受けること」そんな小商いという生き方について考えてみる時期が来ているような気がします。

本の中に印象的な文章がありました。「商店街に帽子屋があった時代とは、おとなというものが存在していた時代である。親子がため口をきくような時代からは想像も出来ない距離が、おとなと子どもの間にあった」帽子屋がまだあった昭和30年代は、今に比べればすべての規模がちいさかったのですが、おとなが世の中の中心的な存在であった時代でした。

経済成長を遂げた今は、おとながほとんどいなくなってしまう…のでしょうか。経済成長と社会の成長は違ったのですね。

業界だより

○社名変更

平成25年10月1日付
(新) 日鉄住金テックスエンジ(株)札幌営業所
(旧) (株)日鉄エレックス札幌支店

○住所変更

平成25年11月1日付
・(株)ドウデン
(新) 札幌市東区北7条東18丁目1-40
(旧) 札幌市東区北7条東18丁目105-14

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成25年10月24日(木) 12:00~13:30

第4回議題

【協議事項】

1. 平成26年度の電業協会及び電設協道支部役員会等の日程(案)について
2. 定款第21条第5項の規定に基づく職務執行状況の報告について
3. 平成25年度経営者懇談会・セミナーの運営について
以上提案どおり承認された

【報告事項】

1. 本部251回政策委員会の概要報告
2. 平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催について
3. 平成25年度電気設備施設見学会の開催結果について
4. 第2回社会保険未加入対策推進北海道地方協議会の開催について
5. 平成25年度北海道赤レンガ建築賞一次審査の結果報告について
6. 札幌市公契約条例案(修正案)に係る説明会の概要について
7. 会員企業の会社名等の変更について
8. 平成25年10月~11月行事予定について
9. 『電設技術』webアンケートご回答のお願い
10. その他意見交換
以上概要を報告(小川専務理事)

◇平成25年12月3日(火) 16:30~17:30

場 所 札幌グランドホテル会議室

第5回議題

【協議事項】

1. 今後総会までのスケジュールについて
2. 平成25年度中間経理報告について
3. 札幌市との防災協定の締結について
以上提案どおり承認された

【報告事項】

1. 電設協第252回政策委員会の概要報告
2. 平成25年度経営者懇談会の開催結果概要
3. 平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催結果
4. 平成26年電気関係賀詞交歓会について
5. 平成25年度北海道赤レンガ建築賞第2回実行委員会の開催結果
6. 平成26年度優秀施工者国土交通大臣顕彰候補者の推薦について
7. 平成25年12月~平成26年1月行事予定
8. その他意見交換
以上概要を報告(小川専務理事)

|| 三 役 会

◇平成25年10月7日(月) 12:00~13:30

第7回議題

1. 平成26年度の電業協会及び電設協道支部役員会等の日程(案)
2. 平成25年度経営者懇談会・セミナーの運営

3. 平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催
4. 本部251回政策委員会の概要報告
5. 平成25年度北海道赤レンガ建築賞1次審査の結果
6. 平成25年度電気設備施設見学会の開催結果
7. 北海道建設業審議会の開催
8. 社会保険未加入対策推進北海道地方協議会第3回WGの開催
9. 平成25年10月～11月の行事予定
10. その他意見交換
 - ・会員大会参加者
 - ・北海道開発局営繕部との情報交換会
(対応：経営委員会)

◇平成25年11月5日(火) 12:00～13:30

第8回議題

1. 平成25年度経営者懇談会・セミナー
2. 平成25年度上期決算報告
3. 平成26年電気関係賀詞交歓会の開催
4. 平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会開催結果報告
5. 平成25年11月～12月行事予定
6. その他意見交換

◇平成25年12月3日(火) 15:30～16:30

場 所 札幌グランドホテル会議室「紅葉」

第9回議題

1. 今後総会までの協会主要業務スケジュール
2. 協会三役による官公庁平成26年新年挨拶回り
3. 電設協本部第252回政策委員会
4. 本部理事会及び本部政策委員会開催概要
5. 平成25年度経営者懇談会・セミナーの開催概要
6. 平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催結果
7. 平成25年度北海道赤レンガ建築賞第2回実行委員会の開催結果
8. 平成26年度優秀施工者国土交通大臣顕彰候補者の推薦依頼

9. 平成25年12月～平成26年1月の行事予定
10. その他意見交換

総務委員会

◇平成25年12月9日(月) 16:00～17:00

第3回議題

1. 今後総会までの協会主要業務スケジュール
2. 平成25年度中間経理報告
3. 札幌市との防災協定の締結について
4. 平成25年度経営者懇談会・セミナーの開催結果
5. 平成25年度北海道赤レンガ建築賞第2回実行委員会の開催結果
6. 平成26年電気関係賀詞交歓会の開催について
7. 平成27年度電設協会員大会（北海道支部）の開催に向けて
8. その他意見交換

経営委員会

◇平成25年10月3日(木) 12:00～13:30

第3回議題

1. 第2回議事録（案）の承認
2. 電設協第251回政策委員会開催概要
3. 経営者懇談会・セミナーの開催
4. 分離発注のための陳情要請活動
5. その他意見交換
 - ・北海道開発局営繕部との意見交換会

◇平成25年12月12日(木) 16:00～17:00

第4回議題

1. 第3回議事録（案）の承認
2. 電設協第252回政策委員会の開催概要
3. 平成25年度経営者懇談会・セミナーの開催概要
4. 平成25年度会員大会決議
5. 平成26年電気関係賀詞交歓会
6. 今後総会までのスケジュール
7. その他意見交換

広報委員会

◇平成25年11月14日(木) 16:30~18:00

1. 会報冬号「新春特集」打ち合わせ
2. 会報冬号「新春特集」インタビュー
登別温泉郷 滝乃家 女将
北海道女将の会 会長
須賀 紀子 さん

◇平成25年11月22日(金) 12:00~15:00

1. 会報冬号「新春特集」インタビューのテープ
起こしと校正作業

◇平成25年12月11日(水) 15:00~17:00

第3回議題

1. 会報「春号」編集方針
2. 会報「冬号」校正
3. 新春特集
4. その他意見交換

技術安全委員会

◇平成25年12月16日(月) 16:00~17:00

第3回議題

1. 実施報告
 - ・平成25年度登録電気工事基幹技能者認定講習会
 - ・平成25年度経営者懇談会・セミナー開催概要
2. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の開催概要
3. 技術講習会の開催
4. 平成26年度技術安全衛生基礎教育講習会（新人研修）の開催
5. その他意見交換

事務局日誌

10月3日(木)・第3回経営委員会

- ・北海道開発局との情報交換会
- ・本部運営協議会
- ・本部理事会

大房支部長（東京）

7日(月)・第7回三役会議

10日(木)・第2回技術・安全委員会

- ・北海道設備設計事務所協会創立30周年記念式典及び祝賀会

山口副会長（京王プラザホテル）

18日(金)・札幌市公契約条例案に係る説明会

鈴木経営委員長

（札幌市役所12階会議室）

- ・社会保険未加入対策推進地方協議会
第3回WG

小川専務理事（第一合同庁舎）

- ・第3回ボウリング部会

（スガイノルベサ）

23日(水)・北海道建設審議会

大房会長（かでの2・7）

24日(木)・第4回理事会・常議員会

26日(土)・登録電気工事基幹技能者認定講習会
~27日(日)（電気会館）

30日(水)・社会保険未加入対策推進地方協議会
山口副会長（第一合同庁舎）

31日(木)・平成25年度会員大会

（東京）

11月5日(火)・第8回三役会議

- ・経営者懇談会・セミナー
- ・懇親会

（札幌グランドホテル）

14日(木)・広報委員会

新春インタビュー

18日(月)・札幌市との防災協定説明会

小川専務理事他

（札幌市役所会議室）

21日(木)・本部常任理事会

大房支部長（東京）

26日(火)・北海道赤レンガ建築賞第2回実行委員会

小川専務理事(道庁会議室)

28日(木)・本部252回政策委員会

山口副会長(東京)

12月3日(火)・第9回三役会議

・第5回理事会、常議員会

・懇親会

(札幌グランドホテル)

5日(木)・登録電気工事基幹技能者専門委員会

枝並事務局長(東京)

9日(月)・第3回総務委員会

11日(水)・第3回広報委員会

12日(木)・第4回経営委員会

13日(金)・本部運営委員会

大房支部長(東京)

16日(月)・第3回技術安全委員会

26日(木)・会報冬号、発送・配布

27日(金)・御用納め

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

皆さま方には新しい年を迎え、新しい希望に満ちていることと思います。

この度は、会報「冬号」の発行にあたりまして、北海道開発局営繕部長 内野井宗哉様におかれましては、公務多忙にもかかわらず巻頭言にご寄稿いただき厚く御礼申し上げます。

道内の官庁施設の整備と保全指導、そして既存施設の災害に対する安心・安全の取り組みなど、一層のご尽力をいただきますことをお願い申し上げます。併せて、当協会に対しましても更なるご指導とご鞭撻を頂きたいと思っております。

さて、2020年の夏季オリンピック・パラリンピック大会が、東京で開催されることに決まりました。私は最終プレゼンテーションでは東京の魅力を素直に伝えるすばらしいスピーチに感銘した一人でもあります。これから2020年の開催に向け、さまざまな経済効果が期待されておりますが、この巨大なプロジェクトにどのように接していくのか、特に北海道はどのようにかかわってゆくのか。建設業に身を置くものにとっては混迷極まる問題ですが、経済効果は大いに期待したいものです。

それともうひとつ、20??年の二度目の冬季オリンピックを狙った札幌オリンピックの誘致。資金や費用の問題はともかく、これは大いに盛り上がり夢の広がる話です。世界に札幌のすばらしさをもう一度。皆さんいかがですか。

広報副委員長 太刀川 雅弘



発行 平成26年1月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp